

取 組 方 針

株式会社サンキ工業は、長尺加工技術で世の中にある様々な機械に組み込まれているシャフトやローラの製造を行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは事業活動に伴う環境への負担を少なくするために、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物・化学物質の安全な取り扱い
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取り組み方針と取り組み目標および具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和2年9月1日（制定年月日）

株式会社サンキ工業

代表取締役社長 越田 秀一

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一	二酸化炭素の総排出量（または売上高当たりの排出量）を、2020 年を基準として 2022 年までに 35,000kg-CO ₂ （または kg-CO ₂ /百万円）に削減する
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 断熱性の高い建築素材で建物をたてて断熱効果を高める ② エアコンより電気を使用しない空調を設置し、電気使用量を抑える ③ 休憩室等の仕事中使用しない部屋の消灯を徹底的に行う。 ④ 「電気見える化」で電気使用量をリアルタイムに把握し節電する ⑤ サーキュレータなどを利用し、エアコンの効率を高める ⑥ 会社内の照明をすべて LED にし電気使用量を抑える ⑦ 窓に遮熱シートを貼ることで工場内に熱が入ってこないようにする。 ⑧ 空調に用いた地下水を工場の屋根に流すことで夏は冷却、冬は融雪の役割として用いる ⑨ 省電力の工作機械に更新し、電気使用量を減らす。

目標二	廃棄物の総排出量（または売上高当たりの排出量）を、2020 年を基準として 2022 年までに 7 トン（またはトン/百万円）に削減する
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 梱包に用いる資材をなるべく減らす ② ペットボトルの使用量を減らし、マイボトル持参を推奨する ③ アルカリイオン水生成器を用いて切削水の切削性を上げることで必要以上の切削水を使用しないようにする。 ④ ウェス等でこまめに備品をメンテナンスすることで購入頻度を減らす。 ⑤ 詰め替えの洗剤等を使用し、廃棄物を減らす。

目標一3	紙の総使用量(または売上高当たりの使用量)を、2020年を基準として2022年までに20,000枚(または枚/百万円)に削減する
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 裏紙をメモ帳に使用することで廃棄を減らす ② 加工したあとの図面をスキャナーしておき、次回同様の加工が来た場合には紙で打ち出さずに済むようにする。 ③ トイレトーパー使用量を減らすように現場に周知する ④ 購入品の明細等をペーパーレス化していく

目標一4	社内の取組体制構築、環境保全に関する地域社会への貢献活動推進
具体的な取組	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会社敷地内に芝生の庭をつくり緑地化を進める ② 敷地内外の定期的な草むしりを行う。 ③ 毎週、担当者を決めて社内取組状況を確認する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、総務課長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。